

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2020年8月20日(木)

NO. 1092号

本号3頁

**第57回「19日行動」 いのちをまもれ！ 臨時国会ただちに開け！
 敵基地攻撃は憲法違反！ 安倍改憲発議とめよう！
 安倍内閣退陣を！ 8・19国会議員会館前行動**

総がかり行動実行委員会と全国市民アクション主催の定例の19日行動が、8月19日(水)の18時30分から国会議員会館前を中心に開催されました。日中の猛暑がたつぷりと残る暑さの中900人が結集しました。

参加者は、安倍改憲の阻止を訴え、安倍政権が検討を始めた敵基地攻撃能力の保有の危険性を指摘し、「力を合わせて安倍政権を退陣に追い込み、政治を変えよう」と訴えました。

主催者挨拶した菱山南帆子さんは「コロナ禍でも安倍政権は戦闘機を大量に購入しています。なぜ、コロナ禍で大変な医療や福祉に使わないのか」と訴え、憲法53条に基づき野党が求める臨時国会開催を開かせようと呼びかけました。



日本共産党の宮本徹衆院議員、立憲民主党の武内則夫衆院議員、社民党の福島瑞穂参院議員が参加。宮本氏は「野党が憲法に基づき開催を求めている国会開催に実現させよう」と呼びかけ、さらに「敵基地攻撃能力」について、「国際法違反であり、憲法9条を骨抜きにするものです」と強調し、「憲法を生かす政治を一緒に作りましょう」と訴えました。

様々な立場の市民がスピーチ。看護婦で東京新聞にコラムを掲載している看護婦の宮子あずさんは、エアコンもない部屋で生活する老人の実態を語り、コロナ禍でいのちとくらしが脅かされる人が出てきており、「早急に対策をする必要があります。その議論をするためにも国会を開くべきです」と話しました。

政府・与党「危険水域」寸前に危機感 反転の道筋描けず

時事通信の8月の世論調査で内閣支持率が「危険水域」とされる3割割れの寸前まで落ち込みました。厳しい結果を受け、政府・与党は危機感を強めていると各社が報道しています。また、「支持率下落の底流には新型コロナウイルスをめぐる政府対応への国民のいら立ちが渦巻いているとみられ、反転の道筋は描けていない」とも報道しています。

報道によると、安倍首相の周辺は14日、「困った。何もかも政権の責任にされている」と、世論調査結果に困惑の表情を浮かべ、その上で「スピード感を持ってやっていくしかない。一喜一憂しないの一言に尽きる」と気を引き締めるように語ったとのことです。

政権幹部らが落胆するのは、コロナ対策についての調査では「評価しない」が6割近くに上ったことです。コロナ禍にあえぐ観光産業への支援事業「Go To Travel」に対する異論は9割近くに達しました。

自民党関係者は「こんな状態では衆院解散どころではない」と指摘し、党幹部は「今は耐える時だ」と話しているとのことです。党内には9月末までに見込まれる内閣改造・自民党役員人事を念頭に「人事で雰囲気を開くしかない」(関係者)との声もでており、来年9月に任期切れが迫っ

た首相の求心力には陰りが出ており、停滞ムードを一新できるほどの大胆な人事は難しいとの見方が強くなっています。

国民の不満の背景には、首相が最近、国会開催に込まず、記者会見も行わず、コロナ対応を丁寧
に説明しようとしないうちにもみられます。しかし、首相サイドにはすぐに会見に応じる雰囲気
は全くありません。首相は14日、その前の2日間と同様に午前休を取り、当初の予定より1時間
遅い午後2時すぎに首相官邸に出勤。自民党の閣僚経験者は「首相の表情には疲れが見え、気力も
感じられない。状況を好転させる材料は全く見当たらない」と嘆いています。

安倍首相 17日は日帰り検診

そして、安倍首相は17日午前、検査のため慶応大学病院に入り、約7時間半滞在しました。首相
周辺は「夏期休暇を利用して休み明けの体調管理に万全を期すため、日帰り検診を受けている」と
説明しています。

このことに、麻生財務相は17日夜、「147日間休まず働いたら、普通だったら体調としては、おかし
くなるんじゃないの」と語りました。しかし、副総理として、安倍首相の健康に注意して、仕事
を分担するとか、休みを取り合うとかすべきだったのではないかと、何で147日も働かせたのかと、
素人は思います。

◇各社世論調査での安倍内閣の支持率

○時事通信(8月7～10日) 安倍内閣の支持率は前月比2.4ポイント減の32.7%、不支持率は同2
ポイント増の48.2%でした。第2次政権発足以降、支持は2017年7月の29.9%に次いで2番目に
低く、不支持も同月の48.6%に次ぐ高さでした。

新型コロナウイルス感染拡大への政府対応を「評価しない」と答えた人は59.6%で、「評価する」
の19.4%を大きく上回りました。また、観光支援事業「Go To トラベル」キャンペーンを7月下
旬に始めたことについて、「早過ぎる」が82.8%を占めました。「適切だ」はわずか9.0%、「遅過ぎ
る」は4.0%でした。政府が緊急事態宣言を再発令することに対しては、「出すべきだ」54.6%、「出
すべきでない」23.5%となりました。

○読売新聞 8月10日

◆あなたは、安倍内閣を、支持しますか。

- ・支持する 37 (39)
- ・支持しない 54 (52)

◆新型コロナウイルスを巡る日本政府の対応を、評価しますか。

- ・評価する 27
- ・評価しない 66

◆政府が、先月から旅行代金の割引などで観光を支援する「Go
To トラベル」を開始したのは、適切だったと思いますか。

- ・適切だった 10
- ・適切ではなかった 85

◆野党は、新型コロナウイルスへの政府の対応などを議論するため、臨時国会を速やかに開くよう
求めています。あなたは、臨時国会を速やかに開くべきだと思いますか。

- ・速やかに開くべきだ 73
- ・急ぐ必要はない 23

○NHK世論調査詳報 8月8～13日

◆内閣支持34%、不支持47% 安倍内閣を「支持する」と答えた人は、先月の調査より2ポイント
下がって34%だったのに対し、「支持しない」と答えた人は、2ポイント上がって47%でした。「支持
する」は、平成24年12月に第2次安倍内閣が発足以降、最低の水準となりました。

◆新型コロナウイルスをめぐる政府のこれまでの対応について、「大いに評価する」が4%、「ある程
度評価する」が34%、「あまり評価しない」が42%、「まったく評価しない」が16%でした。政府のこ
れまでの対応を「評価しない」と答えた人は、「あまり」と「まったく」をあわせて58%で、先月か
ら10ポイントあまり増加しました。

◆観光需要の喚起策の「Go To トラベル」をどうすべきだと思うか4つの選択肢をあげて尋ねたところ、
「東京を除外して続けるべき」が4%、「東京も含め全国一律で続けるべき」が10%、「除外地域を
広げて続けるべき」が17%、「いったん中止すべき」が62%でした。



◆国会を速やかに開くべきだと思うかどうかについて、支持政党別で見ると、「速やかに開くべき」と答えたのは、野党支持層で85%、支持なし層で78%にのびりました。与党支持層でも、「速やかに開くべき」は63%で「速やかに開く必要はない」の28%を大きく上回りました。

日本会議、靖国神社で集会「憲法に緊急事態条項を」

靖国神社で終戦記念日の15日、憲法改正を訴える運動団体「日本会議」と「英霊にこたえる会」は、憲法改正や首相による靖国参拝の「定着」を求める集会を開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、規模を縮小し、約80人が参加。国会での憲法論議の活性化などを求める声明を決議しました。

「日本会議」政策委員会会長の百地章国士舘大学特任教授は、中国の領土侵犯を批判し、「国難と言うべきだ。軍隊の保持を禁止し、我が国の安全のみならず生存まで他国に委ねた『えせ平和主義』を掲げた憲法の下、憲法を改正し主権独立国会に相応しい軍隊保持が必要である」と述べ、そのための第一歩として自衛隊の9条明記を主張しました。

「英霊にこたえる会」の寺島泰三会長は「コロナ対策では憲法上の制約のため、(休業などの)要請だけで強制ができないなど様々な齟齬(そご)が生じている。緊急事態条項を憲法の中に明記することを切望したい」などとあいさつしました。

衛藤晟一沖縄・北方担当相があいさつし、自民党有村治子参院議員がゲストとして発言しました。

各地のとくみ

高知 「教育関係5団体の会」が平和の思い訴えIRトーク

高知県の県教組などの「教育関係5団体の会」は15日、高知市の中央公園北口でスタンディング宣伝し、憲法9条を守り生かすことなどを求めました。約60人が参加し、「憲法改悪は戦争への道平和な日本を子どもたちに手渡そう」「武器の購入予算をコロナ対策に」「平和な未来を」などと書かれた横断幕やプラカードを手にアピールしました。

参加者はIRトークで「平和を引き寄せるために戦争の悲惨と不条理を語り継いでいこう」「戦争の歴史に学び行動に繋げることが大切だ」「コロナ禍に乗じた安倍政権の改憲策動や、敵基地攻撃能力の保有の動きは、憲法9条をなきものにするものだ」「核兵器禁止条約が発効しようとしていることは希望。被爆者が生きているうちに核兵器をなくそう」などと訴えました。

ビラを受け取った男性(48)は「戦争を忘れないために、伝える行動を続けていくことが大切です」と言い、大学4年生の女性(23)は「国民がコロナ禍に気を取られている間に戦争の国づくりが進められていることが怖い。平和や戦争のことを勉強していきたい」と話しました。

北海道 国民を戦争に駆り出した「赤紙」(召集令状)の複製を配る!

75回目の終戦記念日の15日、札幌駅前前で女性たちが「悲惨な戦争は二度とごめんです。核兵器も基地もない平和な日本をつくりましょう」とも多くの国民を戦争に駆り出した「赤紙」(召集令状)の複製を配りました。中学生や高校生、若者らが受け取り、500枚があつという間になくなりました。

強風が吹きつける札幌駅前でしたが、さっぽろ平和行動実行委員会の女性たちが防空頭巾ともんぺの戦時中の衣装で登場し、注目を集めました。「紙切れ1枚で戦争に行かなければならなかった。『赤紙』にその人の命が入っている気がします」と語るのは中学1年の女子生徒。「曾祖父が戦地に行く途中に亡くなったことを祖母から聞いていました」と語る高校1年の男子生徒は「二度と戦争は起こしたくない」ときっぱり。

教科書に小さく載っている「赤紙」を見たという高校3年の女子生徒は「選択もできないで強制的に戦争に行かされるのは間違っています」と語りました。

初めて「赤紙」を見たという大学2年の女子生徒は「ドキュメンタリーで殺し殺される戦地の悲惨さを知り、語り継いでいかなければと思います」と力を込めました。

